

# えがお大東っ子

## 第63号

### 幼稚園児と中学生の交流会

3年ぶりに諸福幼稚園の園児と諸福中学校の中学生のたこあげ交流会がありました。園児は中学校の大きなグラウンドにびっくり！広い広いグラウンドで、中学生に手伝ってもらいながら、自分たちの作ったたこで、たこあげを楽しんでいました。



また、園児にやさしく言葉をかけ、一緒に走ったり、後ろからたこを持ってあげたりと、中学生のすてきな姿がたくさん見られました。

はじめは、互いに少し緊張気味だった園児と中学生も打ち解け、元気いっぱい走り回り、お別れするときには、少しさみしくなってしまう場面も。園児にとっても中学生にとっても、またひとつ、心に残る思い出ができました。



### バリアフリー教室を通して学ぶ

「バリアフリー教室」は、社会の中にあるバリア（障壁）について、子どもたちが体験を通して学び、誰にとっても住みやすいまちとは何か、自分にできることは何かを考える取り組みです。

「バリアフリー教室」では、子どもたちが実際に車いすを押したり、アイマスクをしたりする体験を通して、点字ブロックの上に物を置いたり、自転車を止めたりしないことや、まちで困っている人に出会ったら言葉をかけるなど、自分にできることは何かを考え、行動する大切さを学んでいました。



さまざまな状況にある人たちとともに暮らしていることを感じ、自分にとって身近なものや普段何気なく見ていたことをバリアフリーという観点から捉えなおす機会となりました。

# 食育推進に向けた 授業づくりについて

大東市の食育目標が「早寝・早起き・朝ごはん」であることをみなさんご存じでしょうか。小学6年生と中学3年生を対象に行われる「全国学力・学習状況調査」では、食育に関する質問事項が毎年設定されており、健康面についてはもちろん、学力面についても食育との関係性は切り離せないところです。

大東市では、各小・中学校より1名ずつ給食指導担当者が参加し、子どもたちの食育課題の改善において話し合う場を年に数回設定しており、今年度は「食育推進におけた授業づくり」をテーマに話し合いを進めてきました。具体的には、朝食の欠食や給食の残菜、偏食など、様々な食育課題に対し、子どもたちの実態にあわせた授業実践（右のグラフ参照）が各校で行われ、その成果や課題について話し合いました。

朝食摂取と体温の変化



出典：鈴木正成 食の科学No.157

子どもたちが授業で得た学びを活かしていけるよう、毎日の給食で指導したり、給食だより等で各家庭へ発信したりしています。学校と家庭が連携しながら、継続的に指導していけるよう今後も尽力していきます。

大東市教育委員会公式 YouTube チャンネル

## 大東市教育委員会【公式】ちゃんねる

<https://www.youtube.com/channel/UCBmt80AqYK8hTmIpXdb9jxA>



『大東市教育委員会【公式】ちゃんねる』では、大東市の教育に関するさまざまな情報を発信しています！ぜひご覧ください！

こちらからも  
ご覧いただけます



給食についても紹介しています！！

# 大東教員スキルアップ講座

## ～TM・GTM校 学校公開編～



大東市には、大阪府のスクール・エンパワーメント推進事業の指定を受け、学力向上に向けた取組みを進めている学校が3校あります。「確かな学びをはぐくむ学校づくり推進校（TM校）」である三箇小学校、大東中学校、そして、「学校図書館を充実・活用するためのモデル校（GTM校）」である深野中学校です。今回の「えがお大東っ子」では、この3校で実施された学校公開のようすを紹介します！！

### 三箇小学校(TM校)



9月16日に実施された三箇小学校の学校公開では、算数科・国語科の授業を市内の学力向上担当者が参観しました。算数科では、安心して本時の学びに向かうことができるような掲示物の工夫がありました。

また三箇小学校では、読書活動の推進にも取り組まれており、季節ごとの図書館イベントや読書目標の設定など、自然と本を読みたくなるしかけがたくさんありました。

2月3日に実施された、大東中学校の学校公開には、市内の学力向上担当者、また市外からも参加がありました。授業では、課題の解決に向けて、子どもたちが主体的に取り組む姿、子どもたち同士が関わり合いながら学びを深めていく姿もたくさん見られました。参加した教員からは、「思考力を高めていくための課題設定の大切さを改めて感じた」「生徒が主体となる授業づくりをしていきたい」といった感想がありました。

### 大東中学校(TM校)



### 深野中学校(GTM校)



「言語能力」「情報活用能力」の育成のため、日々の授業の中で学校図書館をどのように活用していくか…深野中学校では、今年度1年間、全学年・全教科での学校図書館活用をめざして取組みを進めてきました。

11月10日に実施された学校公開では、数学科と音楽科の授業を公開し、学校図書館を効果的に活用した実践について、市内の教員だけでなく、市外から参加した教員とも共有することができました。また、深野中学校では、学校図書館内だけでなく、廊下や階段、玄関にも図書に関する掲示や展示があり、いつでも『学校図書館』や『本』とつながることができる素敵な空間がたくさんありました。

# 人権教育の授業づくりを 協同で進めています

大東市では、「人権教育ワーキンググループ」を通して、人権課題の解決に向けた授業づくりを毎年行っています。この取り組みでは、市内全ての小中学校から参加した教員が5つのグループに分かれて、

- ①人権課題についての学習会
- ②授業づくり（学習指導案の作成・検討）
- ③授業実践
- ④授業後の振り返り



という流れで実践を積み重ねています。

令和4年度のテーマは「基礎から学ぶ同和教育」です。経験年数の少ない教員や、同和教育の実践経験が少ない教員が集まり、ともに同和教育について学びながら授業づくりを行いました。

各校で行われた授業実践では、子どもたちは「差別」や「偏見」、「決めつけ」によって相手を傷つけてしまうことを、絵本を通して学んだり、就職差別や全国水平社についての教材から、当事者はどのような思いだったか、自分ならどうするかなどを考えたりして、自分の価値観を問い直すことができました。

人権についての感覚は、このような人権教育だけではなく、教科の授業や様々な人との関わりによっても養われていきます。授業で考えたことが、児童生徒の行動変容につながるよう、これからも取り組みをすすめていきます。

